

「ノリモンカード」作りを通して、順序にそって簡単な構成の説明の文章を書く力をつける。

第1学年1組 国語科学習指導案

指導者 荒井 麻友子

1. 単元名 「ノリモンカード」をあつめよう！
2. 学習材 「はたらくじどう車」(教育出版 ひろがる言葉 1年下)
「のりものカードでしらせよう」(教育出版 ひろがる言葉 1年下)
3. 単元について

(1) 本単元でつきたい力

本単元では、主に、小学校学習指導要領・国語〔第1学年及び第2学年〕の「B書くこと」、「C読むこと」における以下の能力を身につけることをねらいとしている。

B 書くこと

内容 (1) イ 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。

言語活動例 (2) ア 身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。

C 読むこと

内容 (1) ア 時間的な順序や事柄の順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。

言語活動例 (2) ア 物事の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。

本単元では、学習材「はたらくじどう車」の音読をし視写をしていきながら、乗り物の「やくわり」と「つくり」という説明文の文章構成に気付かせいていく。「はたらくじどう車」を読んだあと、同じように「ノリモンカード」を作るという学習のゴールイメージをもたせることで、主体的な読み、学習となるだろう。オリジナルの「ノリモンカード」を作る活動を通して、自分の紹介したい乗り物の「やくわり」と「つくり」という構成を使い、簡単な構成の説明の文章を書く。さらに、書いたカードを友達と読みあい、友達の作品の良さを見つけて伝え合うことをねらいとしている。

(2) 単元の目標

【知識及び技能】

○「はたらくじどう車」を読んだり、視写したりして、語彙を豊かにすることができる。

(1 (1) オ)・・・㊸)

【思考力、判断力、表現力等】

○「はたらくじどう車」の音読をし、視写をしていきながら、内容の大体を捉えることができる。

(2C (1) ア)・・・㊸)

○オリジナルの「ノリモンカード」を作る活動を通して、自分の紹介したい乗り物の「やくわり」と「つくり」という構造を用いて、簡単な構成の説明の文章を書くことができる。(2B (1) イ)・・・㊸)

【学びに向かう力、人間性等】

○事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、学習の見通しをもって「ノリモンカード」を書こうとしている。・・・㊸)

(3) 指導観

〔見いだす〕

□本単元（本時等）の目標（めあて・ねらい）を児童に明示する。

①主体的に学習に取り組めるようにするため、モデルを示し学習の見通しをもたせる。

本単元の第1次では、「ノリモンカード」と出合う。教師のモデルを見て同じように作ってみたいと意欲を引き出すことができる。「ノリモンカード」とは画用紙の上部に乗り物の絵、下部にその乗り物を説明する文章が書かれたものである。第2次では、教科書教材「はたらくじどう車」の文章を視写し、絵を添える。まず、「ノリモンカード」を作りたい意欲を継続させるため、はじめにカードケース（封筒）を作成する。頭括型である「じどう車には、いろいろなものがあります。どのじどう車も、やくわりにあわせてつくられています。」という文章を丁寧に扱う。カードごとにこの観点に従ってそれぞれの「バス」「コンクリートミキサー車」「ショベルカー」「ポンプ車」を音読して、視写をするたびに、どのカードもこの観点に従って事例も順序良く説明されていることに気付かせる。どの自動車もやくわりにあわせて本当に作られているのかを毎回封筒を読み、確認しながらカードを書かせる。封筒の中へとカードが増える喜びも味わわせることができる。

〔自分で取り組む〕

□児童が自ら情報を収集し調べることができるように、環境等を用意する。

②読書に親しむ環境、乗り物を身近に感じられる環境づくりをして主体的に読ませていく。

「ノリモンカード」を作るには、乗り物図鑑や、乗り物が出てくる本を用意したり読み聞かせを行ったりする必要がある。館山市の図書館から本を借り、教室に本を準備しておく。つながりのある乗り物の図鑑や本が身近にあることは、教科書以外の作品や文章を読む機会が得られる。ミニカーやおもちゃの模型を教室においておくことで、本が苦手と思う子どもにとっても乗り物に興味を持って取り組むことができるようにする。

□児童一人一人の様子を把握し、早めに解決できた児童や、つまづいてしまっている児童に対する次の手立てを準備している。

③自分に合ったカードを選び、オリジナルの「ノリモンカード」の作成をする。

これまで、子どもたちは1学期に2冊の視写本を作成している。この学習に入る前の視写本作成時から、自分の好きなシート（①全なぞり②頭だけ③穴あき④マスだけ）の4種類から選択した。書くことに苦手な子どもも、海外からの転入生も自分で選択ができたことは効果的であった。本単元でも4種類の中から自ら選び、個にあわせて学びを深めることができるようにする。視写には、書字が向上したり、書字速度が向上したりする効果がある。文字を書くことで、入門期である子どもたちが理屈ではなく、丸ごと文章を暗記し学習することが大切である。自分の選択した乗り物でオリジナルの「ノリモンカード」を作る際には、「はたらくじどう車」で獲得された基本文型や基本構成を真似て子どもたちが表現していく。自分で作るカードなので愛着がわき、意欲的に作成することができる。「ノリモンカード」が1枚完成するたびに、完成した文章を何度も音読させる。自分で作ったカードなので意欲的に音読でき、音読することで間違いに気づくこともできると考える。

〔広げ深める〕

□児童が多様な考えを理解できるように、互いに学びあう場面を設定する。

④丁寧な文字で清書をさせ、カードを読み返し、友達と伝えあおうとする。

第三次では互いのカードを鑑賞し、誉めあう活動を取り入れる。自分のカードが友達から誉められることで、愛着が一層増し、カード作りの意欲も継続すると考える。「よかったですから付箋」へ記名された「いいねシール」を貼り、作品のよさを見つけて話して伝える。友達の作品読んだり、自分の作品を読んでもらったりすることで、友達との交流の跡が視覚化できるようにする。

〔まとめあげる〕

□児童が板書やノート、作品等を通して思考の過程を振り返り、学んだことをまとめる場面を設定する。

⑤授業の終わりに国語日記を書かせたり、単元の終わりに学習について振り返らせたりする。

授業の終わりに国語日記（学習を振り返り、「ノリモンカード」を作成してみてどうだったかなど）を書かせるようにする。この日記によって、本時で学習してわかったことや初めて知ったこと、自分で簡単な構成の説明の文章を書くことができたかなど子どもの考えを知ることができる。また、単元の終わりに①「ノリモンカード」を作成してどうだったか。②「ノリモンカード」を友だちと交流してみてどうだったか。の2観点で振り返りをさせることで自分自身の成長を客観的に捉え、達成感を味わわせていきたい。

4. 全体指導計画 (10 時間扱い)

次	時	主な学習活動	○教師の支援 ☆評価 (方法)
第一次	1	教師モデル「ノリモンカード」と出会い、学習への意欲と見通しをもつ。「はたらくじどう車」の本文の構成を理解する。 ・拡大した「ノリモンカード」を見て、着語読みをする。 ・形式段落に番号をふる。 ・教師の「ノリモンカード」のモデルを見て、学習への意欲や見通しをもつ。	○教師モデルを示すことで意欲化を図ると共に、単元のゴールをイメージさせる。 ○着語読みをすることで、本文の乗り物についておおまかな内容の大体を捉えるとともに教材への関心を高めさせる。 ○形式段落を確認し、番号をふらせることで、どの段落も3つの簡単な構成の説明でできていることに気付かせる。 ☆単元のゴールと見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。(㊦ 発言) ☆本文の構成が序論と本論に分かれていることを理解する。(㊦ 発言)
	2 本時	序論を視写、音読し、「どのじどう車も、やくわりにあわせてつくられています。」という観点の役割に気付く。 ・序論を視写する。 ・「やくわり」と「つくり」という言葉を知る。 ・「いろいろ」を実感させる。 ・どのじどう車もやくわりにあわせてつくられていることを知る。	○たくさん種類の自動車を挙げさせる。 ○やくわりの意味をおさえる。 ○書き出しの位置をおさえる。 ○自分の好きなシート (①全なぞり②頭だけ③穴あき④マスだけ) の4種類から選択させる。視写が苦手な子やひらがな未習得な子には、モデルを見せたり、なぞらせたりする。 ☆どの自動車も役割に合わせて作られていることを理解している。(㊦ 発言・日記)
第二次	3	本文を視写し、バスのカードをつくる。 ・「やくわり」「つくり」を自分でみつける。 ・バスもやくわりとつくりに合わせてつくられていることを知る。	○「ぎせき」「つりかわ」「てすり」などの言葉の意味を写真を用いておさえる。 ○視写が苦手な子やひらがな未習得な子には、モデルを見せたり、なぞらせたりする。 ☆バスも役割に合わせてつくられていることを理解している。(㊦ 発言・カード)
	4	本文を視写し、コンクリートミキサー車のカードをつくる。 ・「やくわり」「つくり」を自分でみつける。 ・コンクリートミキサー車もやくわりとつくりに合わせてつくられていることを知る。	○「コンクリート」「ミキサー」「生コンクリート」などの言葉の意味をおさえる。 ○視写が苦手な子やひらがな未習得な子には、モデルを見せたり、なぞらせたりする。 ☆コンクリートミキサー車も役割に合わせてつくられていることを理解している。(㊦ 発言・カード)
	5	本文を視写し、ショベルカーのカードをつくる。 ・「やくわり」「つくり」を自分でみつける。 ・ショベルカーもやくわりとつくりに合わせてつくられていることを知る。	○「ほる」「けずる」「じょうぶ」「ポケット」などの言葉の意味をおさえる。 ○「ほる」「けずる」2つのやくわりに対して、「動かして」「けずり」「運ぶ」ことになっているので7時間目に「運ぶ」ための自動車を設定する。 ○視写が苦手な子やひらがな未習得な子には、モデルを見せたり、なぞらせたりする。 ☆パワーショベルカーも役割に合わせてつくられていることを理解している。(㊦ 発言・カード)
	6	本文を視写し、ポンプ車のカードをつくる。 ・「やくわり」「つくり」を自分でみつける。 ・ポンプ車もやくわりとつくりに合わせてつくられていることを知る。	○「すい上げる」「ホース」「まく」などの意味をおさえる。 ○視写が苦手な子やひらがな未習得な子には、モデルを見せたり、なぞらせたりする。 ☆ポンプ車も役割に合わせてつくられていることを理解している。(㊦ 発言・カード)
第三次	7	本文を視写し、救急車のカードをつくる。 ・「やくわり」について、前時までの経験をもとにして発表する。 ・「つくり」について自分で考える。 ・「やくわり」と「つくり」を順序に気を付けて説明する文章を書く。	○「やくわり」と「つくり」について、全体で確認する。 ○視写が苦手だった子や、平仮名が未習得の子には教師のモデルを見せたり、なぞらせたりする。 ☆「はたらくじどう車」の構成や基本となる文を真似て、救急車についての説明を書いている。(㊦ 発言・カード)
	8	自分が選んだ乗り物のカードを作る。「やくわり」と「つくり」を考えて、順序に気を付けて説明する文章を書く。 ・自分が選んだ乗り物について文章を書く。	○書き出せない子には、モデルの5枚目の「きゅうきゅう車」の提示をする。 ☆「はたらくじどう車」の構成や基本となる文を真似て、自分が選んだ自動車についての説明を書いている。(㊦ 発言・オリジナルカード)
	9	自分が選んだ乗り物のカードを作る。「やくわり」と「つくり」を考えて、順序に気を付けて説明する文章を書く。 ・自分が選んだ乗り物について文章を書く。	○書き出せない子には、モデルの5枚目の「きゅうきゅう車」の提示をする。 ☆「はたらくじどう車」の構成や基本となる文を真似て、自分が選んだ自動車についての説明を書いている。

		る。(㊤ 発言・オリジナルカード)
10	友達と読みあう。 ・友達が作った文章を読みあい、友達の作品のよさを見つけて伝える。 ・友達の作品を読んだらシールを貼り、交流した跡を視覚化してわかるようにする。 ・作品を掲示する。 ・学習を振り返る。	○「ノリモンカード」を声に出して読む。音読をさせることで、句読点や文字の間違いに自分で気が付けるようにする。 ○「ノリモンカード」を作成してどうだったか。「ノリモンカード」を友だちと交流してみようだったか。2観点で振り返る。 ☆「やくわり」「つくり」のつながりを考えて書いている。(㊤ 発言・オリジナルカード) ☆友達の作った文章を読んでいる。(㊤ 発言・日記) ☆「ノリモンカード」を作ることの楽しさを実感している。(㊤ 発言・日記)

5. 本時の指導 (2/10)

(1) 目標 序論を読み、「どのじどう車もやくわりにあわせてつくられています。」という観点の役割に気付く。(【思考力、判断力、表現力】C(1)ア)

(2)

時配	学習活動と内容 ◎教師の発問・子どもの反応	◎教師の支援 ☆評価 (方法)
3	1. 「はたらくじどう車」を音読する。 ・バス ・コンクリートミキサー車 ・ショベルカー ・ポンプ車が出てきた。	○教科書の文字を指で追っていくようにする。 ○前時に使った拡大した本文(ノリモンカード)を教室に掲示していつでも見れるようにしておく。
3	2. 前時の学習を振り返りながら、本時の学習問題を確認する。 ノリモンカードを入れるカードケースをつくらう。	○今日の学習の流れを確認する。 ○教師と同じ速さで学習問題をノートに書くように声をかける。
10	3. 「ノリモンカード」を入れるカードケース(封筒)に文章を視写する。 じどう車には、いろいろなものがあります。どのじどう車も、やくわりにあわせてつくりになっています。いろいろなじどう車のやくわりとつくりをみていきましょう。	○子どもの実態に応じて、教師のモデルを見せたり、頭文字だけ書いてあげたりして、正しく視写できるようにする。
2	4. 視写した文を音読する。	○本文の構成が序論と本論に分かれていることを封筒に序論を書き、視写した文を音読することで大切な文だと確認させる。
7	5. 「じどう車にはいろいろなものがあります。」のいろいろについて自動車にはどんなものがあるのか発表する。 ・パトカー ・タクシー ・はしご車 ・きゅうきゅう車 ・トラック ・ダンプカー	○友達と相談しながらできるだけたくさんの乗り物の名前を発表させる。 ○一人一人が発表し、ここまでしか見つからないというところまで、出尽くすまで尋ねるようにする。板書して可視化する。
10	6. 「やくわりにあわせてつくりになっています。」のやくわりについて発表する。 ◎どのじどう車もやくわりにあわせてつくられていますか。	○やくわりの意味を確認し、「この自動車の役割はなにか」を尋ねることで、全ての自動車が、「やくわりにあわせて作られている」ことを一台ずつ確認し、気づかせる。 ☆どの自動車も「やくわりにあわせてつくられている。」と説明されていることを大まかに理解している。(思 発言)
2	7. 次時の予告をする。	○どの自動車も本当にやくわりに合わせて作られているのか読んでいくことと「ノリモンカード」を作成していくことを伝える。
3	8. 国語日記を書く	○封筒を作成してみてどうだったかを国語日記に書かせる。

